

プランクトン調査（播磨灘）の結果をお知らせします。

【概況】

- ・コシノディスカス・ワイレーが広範囲で確認されましたが、かなり減少してきています。
- ・しかしその他の珪藻類も非常に少ない状況です。
- ・シャットネラ等の有害種は観察されませんでした。

表：有害・有毒プランクトン調査結果（単位：細胞/mL＊コシノディスカスを除く）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ属	カレニア・ ミキモトイ	アレキサンドリウム属	ユーカンビア・ ゾディアクス	コシノディスカス・ ワイレー (単位：細胞/L)
KA23	0	0	0	0	0	25
	10	0	0	0	0	25
	B-1	0	0	0	0	100
KA1	0	0	0	0	0	175
	10	0	0	0	0	250
	B-1	0	0	0	0	300
KA2	0	0	0	0	0	200
	10	0	0	0	0	175
	B-1	0	0	0	0	90
KA3	0	0	0	0	0	375
	10	0	0	0	0	250
KA4	0	0	0	0	0	10
	10	0	0	0	0	25
	B-1	0	0	0	0	0
KA5	0	0	0	0	0	200
	10	0	0	0	0	75
KA6	0	0	0	0	0	50
	10	0	0	0	0	225
KA7	0	0	0	0	0	75
	10	0	0	0	0	25
	B-1	0	0	0	0	10
K4	0	0	0	0	0	10
	10	0	0	0	0	25
	B-1	0	0	0	0	0
T3	0	0	0	0	0	10
	10	0	0	0	0	0
屋島湾	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0

＊コシノディスカスについては試水を濃縮して計数し、1L あたりの細胞密度に換算した値を記載しています。

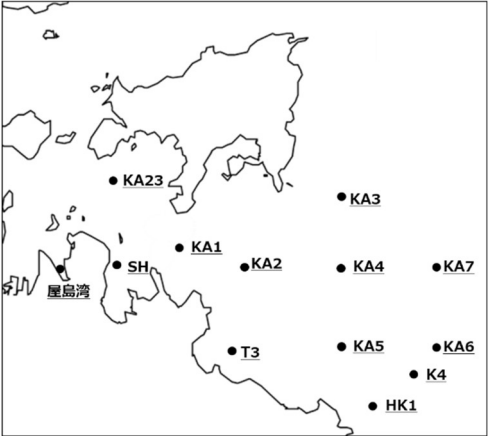
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当: 吉田・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課総務・豊かな海づくりグループ(担当: 澤田・秋山) 電話 087-832-3474

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



* 調査定点 SH および HK1 は夏季（赤潮発生時期）の臨時点です。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	－	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	－	50 細胞/mL